

予算常任委員会会議録

1 開会日時 令和6年12月13日（金）午前10時0分

2 閉会日時 令和6年12月13日（金）午前11時23分

3 会議場所 協議会室

4 出席委員

1 番 牛尾 直人君	2 番 鼻岡 美保君	3 番 安藤 利博君
4 番 永徳 省二君	5 番 大森 進次君	6 番 光成 良充君
7 番 保田 守君	8 番 大口 浩志君	9 番 治徳 義明君
10 番 原田 素代君	11 番 金谷 文則君	12 番 松田 勲君
13 番 福木 京子君	14 番 佐藤 武文君	15 番 下山 哲司君
16 番 実盛 祥五君		

5 欠席委員

な し

6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君	教 育 長 坪井 秀樹君
総 務 部 長 戸川 邦彦君	総合政策部長 倉本 貴博君
市民生活部長 矢部 勉君	財 務 部 長 杉原 洋二君
建設事業部長 桐谷 文昭君	保健福祉部長 遠藤 健一君
建設事業部参与兼 総合政策部参与 産業振興部参与兼 商工観光課長 岡本 和典君	熊山支所長兼 市民生活課長 稲生真由美君
大崎 文裕君	政策推進課長 山崎 和枝君
財 政 課 長 原田 幸子君	総 務 課 長 花谷 晋一君
管 財 課 長 大窄 暢毅君	市 民 課 長 兼 協働推進課長 黒田 未来君
社会福祉課長 富山 雅史君	介護保険課長 和気 幸恵君
健康増進課長 川原 達也君	子育て支援課長 和田美紀子君
農 林 課 長 岡田 浩司君	建 設 課 長 福圓 章浩君
教育委員会参与兼 学校教育課長 原田 敏和君	教育総務課長 西崎 雅彦君
中央学校給食センター所長 森本 一也君	社会教育課長 大月 美佳君
中央公民館長 石井 徹君	

7 事務局職員出席者

議会事務局長 原田 光治君	副 参 事 逢坂紀美子君
---------------	--------------

8 審査又は調査事件について

- 1) 議第69号 令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）
- 2) 議第70号 令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

- 3) 議第 7 1 号 令和 6 年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)
- 4) 議第 7 2 号 令和 6 年度赤磐市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)
- 5) 議第 7 3 号 令和 6 年度赤磐市下水道事業会計補正予算 (第 1 号)

午前10時0分 開会

○委員長（大森進次君） ただいまから予算常任委員会を開催いたします。

まず初めに、友實市長より挨拶をお願いをいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 本日は、大変御多忙の中、予算常任委員会をお開きいただきまして、誠にありがとうございます。

本日審査をいただく案件でございますけれども、議第69号一般会計の補正予算（第6号）でございます。そのほか、特別会計、事業会計、全5件の補正予算について御審査をいただくことになろうかと思えます。何とぞよろしく御協議の上、適切なる御決定をいただきますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託された案件は、議第69号令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）から議第73号令和6年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）までの5件であります。

内容については、本会議場で説明をいただきましたが、補足説明がありましたらお願いをいたします。

説明は、重要な部分を捉えていただきまして、簡潔にお願いしたいと思います。

なお、本日の資料のうち補正予算書と説明資料は、Side Booksの全体共有フォルダーの本会議、令和6年、12月第4回定例会、議案・説明資料フォルダーの中に議案書と補正予算説明資料が格納されています。

説明及び質疑のときは、補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってからお願いをいたします。なお、補正予算書のページは、議案書の通し番号を言ってください。

また、質疑については、簡潔明瞭に一問一答で行い、総務、厚生文教、産業建設のそれぞれの常任委員は所管部分に関しての質疑は原則行わないようお願いをいたします。

また、適時休憩を取り入れたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議第69号令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）の審査に入ります。

審査方法につきましては、まず繰越明許費補正、債務負担行為補正及び地方債補正について審査し、次に歳入歳出について歳出の款ごとに審査を行いたいと思います。なお、歳入についての質疑は、歳出の関連部分で併せて受けたいと思います。

この方法で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

それでは、執行部からの補足説明がありましたら、部ごとをお願いをいたします。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 杉原財務部長。

○財務部長（杉原洋二君） それでは、補足説明をさせていただきます。

まず、全体を通して、歳入についてはございません。

歳出のほうでは、人件費関係では議案の96ページ、予算説明資料では14ページ、2款総務費から10款の教育費までは、人事院勧告による職員及び会計年度任用職員の人件費の増額及び人事異動に伴う増減でございますので、補足説明はありません。

また、議案の96ページ、予算説明資料の14ページ、管財課の案件で、2款1項5目庁舎等整備事業で、現在進めている本庁舎、公民館改修工事において、当初の設計では想定していなかった事案が生じたため、設計変更に要する費用4億円を計上いたしております。主な点といたしましては、公民館大集会室の外壁のクラックによる全面的取替え、また同じく雨漏りが確認されたことによる屋上防水の工法変更、同じく経年劣化した内装の取替え、想定していなかった地下埋設物の除去、設計時には確認をすることができなかった部分の対応、また物価変動に伴う金額変更などでございます。

次に、112ページ、予算説明資料の26ページをお願いいたします。

10款3項2目教育振興費は、教科書改訂事業といたしまして、令和7年度から中学校で使用する教師用教科書、指導書、教材に係る経費を計上させていただいております。これにつきましては、今後予算の成立後、速やかに発注をし、次の3月議会において財産取得に係る契約締結の議案を上程させていただく予定と考えております。

続いて、戻っていただきまして83ページ、第2表の繰越明許費、84ページ、第3表の債務負担行為及び85ページ第4表の地方債については、補足説明はございません。

その他の案件につきましては、本会議場での細部説明のとおり、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（大森進次君） 執行部の説明が終わりました。

それでは、予算書83ページから85ページの「第2表繰越明許費補正」から「第4表地方債補正」について質疑を受けたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に歳入歳出について、最初に全般的な質疑があればお受けし、次に歳出の款ごとに質疑を受けたいと思います。なお、歳入については、歳出の関連部分で質疑をお願いいたします。

それでは、歳入歳出の全般的な質疑はありますか。

よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に2款総務費について質疑を受けたいと思います。

予算書は96ページから99ページ、説明資料は14ページから17ページです。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 予算説明資料の14ページ、15ページの庁舎等整備事業の4億円の追加補正ですが、この説明は今部長のほうから4点か5点にわたって御説明をいただきましたが、最終的には事前の調査の対象にならない想定外のものが出てきたことによる4億円だという御説明だったのですが、納得ができない説明だと私は思っております。そもそもこれが、4億円追加が必要になったという時期をまず教えてください、判断された時期。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 必要になった時期といいますのが、4億円というのが現時点での累積額でございまして、随時こういう変更の発生というのは、ポイントはありますが、あったという経過でございまして。

まず、本庁舎の1期工事につきましては、先ほど部長のほうの説明にもありました土中埋設物、こういったものが大変大きく影響をしてきておるところでございまして。それから、2期工事、今年度明けに供用開始しますが、そちらを踏まえましての中央公民館、こちらが大きいです。半分以上が中央公民館に係る経費となっております。この7月に視察をいただきました外壁、こちらのほうが全面的にALCの劣化が確認されたことから、この鉄骨下地、これも含めての変更となりまして、屋上の雨漏り、この辺も設計時には確認できなかったものの、シートをはぐって確認ができたというところと併せまして、こちらが約1億円程度の変更となっております。大体そういう経過、内訳でございまして。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 事前に設計をされるために予算を取って事業をしてる、プロの方がおやりになってらっしゃる事業ですから、これほどあちこちから後から出てきたというのでは、そもそもの責任問題を問われなきゃいけないんじゃないですか。4億円でそんな小さな金額じゃないですよ。

特に、雨漏りなんていうのは、これは分からなかったという説明は普通なじまないですよ。雨漏り、ましてや外壁なんていうのは、プロが見れば分かることですよ、当然、とんとんとたたいて音が違うとか。地下埋設物っていうのが、何年前だか知りませんが、当初の建築時の青写真を見れば、当然その地下にどういう状態になってるかというのも分かるし、それが

何で最初の時点で総括的な金額でつくってもらえなかったのか。それは、市長、納得されますか、今回のこういう事案について、いかがですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 雨漏りに関しましては、随所修繕を行ってきておりました。今回最終的な原因究明等々もできまして、基本的に中央公民館につきましては耐震改修工事が今回工事のメインでございますので、そちらに関わる部分、こちらの改修というのを当初の目的としておりました。雨漏りに関しては、根本的なそういった原因の究明が、床材でありますとか壁材でありますとか天井、こういったところをはぐった中で究明できましたので、今後の使用を考えた上で修繕を行うことに決定したというところでございます。

地下埋設物に関しましては、旧図面が特に残ってませんでして、コンクリート構造物の合併槽が埋まっていたものでございます。こちらの除去にかかったということでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 耐震構造の設計だけだったんですね。要するに、リユースするためには耐震構造だけでできればいいわけじゃないというのは、それは常識的に分かることじゃないんですか。耐震構造の設計しかやってないということで、今それ以外のものが出てきたので4億円追加。これは、市民は納得しないんじゃないですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 今回の工事の一番の目的は、耐震改修工事でありました。ただ、その耐震改修工事に関係する部分だけではなく、工事の目的というところではありますので、市民の利便性、こういったものも考えた中でやっていくと。中央公民館に関しましては、特に本当に耐震改修工事、あと既存のもので有効に活用できるものは活用しようということでやってきておりましたが、今回この工事の機会に、きちっとそういう利便性でありますとか快適性、安全性を求めた改修を追加したというふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 論点がずれてると思うんです。耐震化すればいいというつもりで市長

は恐らくここに20億円かけてやろうと思っただけでなく、さっきも申しましたように、安全・安心それから快適、市民が不自由なく使える市庁舎や公民館を造ろうという思いで進めてらっしゃったと思うし、今までのその公民館以外のところでそういう予算の追加というのは聞いておりません。ここだけが耐震化だけしか考えてなくて当初走り出したと言って、後から快適性とか、使用勝手のいいような、安全性とか、新たに出てきましたっていうのは、これはそのそもそものうったてが、どういう設計依頼をしてきたのかと疑わざるを得ないです。いや、結論から言うと、当然必要なものです。必要なものですが、執行部としてその予算の立て方ですとか設計の依頼の仕方とか、あまりに常識から外れたやり方としか思えないんですけど、そこはどうですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 設計変更に関しましては、あくまでも今回冒頭部長の説明にもありました当初設計、設計思想がありますが、耐震改修というのをメインに置きながら、幾らかでも快適性等を求めた設計にしようということで取り組んでまいりました。そういった中で、既存の有効活用できるもの、こちらについては、簡単な補修でも対応しながら有効に活用していこうという思想の下にやっておりましたが、実際壁とか天井とかをはぐって見たら、修繕の必要、この機には直しておかなければいけないという判断に至ったということからするものでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（原田素代君） いいです。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私もその問題なんですが、途中でそういう快適性や安全性や、そういうものを追加したという時点では、担当の委員会のほうには説明をされたり、そういう報告というのはあったのかどうか、確認をしたいと思うんですが。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 杉原財務部長。

○財務部長（杉原洋二君） 工事の進捗につきましては、着工から担当の総務常任委員会のほうにも説明はさせていただきました。また、2回、議会の方にも変更事項の内容につきまして、現場のほうで視察なども行いまして、進捗状況、変更点などは説明をさせていただいたつ

もりでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私視察に行けなくて残念でした。その件は説明したということなんですけど、今回その4億円のうち半分が公民館の関係ということなんですけど、今いろいろ言われた中で、大体どの分野が幾らかという金額的なものが分かりますか。雨漏りにどのくらいかかって、外壁が幾らか、経年劣化、それから物価変動というのは多分これは来るだろうなというふうな推測されたんですけど、そのあたりのこの金額的なもの、細かい点が分かれば教えてください。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 中央公民館の部分です。半分といいますか、半分以上となります。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 半分なんですけど、その後でいろいろ言われたその中身、内容、ざっとこういうものはこのくらいかかったというもっと詳しい内容は分かりますか、金額的なもの。物価変動なんかもどのくらい見られとんか、そのあたりもお願いします。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 先ほどありました4億円のうち半分と言いましたが、半分以上でございます。中央公民館の改修に係る部分につきましては、先ほども触れましたが、雨漏りによります屋上、こちらの防水シートの工法やり替え、それから外壁の改修で約1億円を見ております。それからあと、それに加えて、会議室でありますとか講座室、こういった部屋の内装改修、改善の改修です。こちらが3,000万円ほど、それからその他LANでありますとか電気、エキスパンションジョイント、こういったところの改修で3,400万円ほど、それからこれに加えて、どんちょう工事、どんちょうとか音響照明、こういう大集会室の設備機器の更新、こういったものも見とりまして、中央公民館で全体で約2億5,000万円ほどの計上をさせていただきます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 相当のこれは改修費にはなるんですけど、それで物価変動というのはどのくらい見とんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 現在のところ、物価変動、いわゆるインフレスライドと言われるものですが、それにつきましては3,200万円ほどを計上しております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

ほかに質疑はありませんか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 同じような今の項目についてなんですけど、当然、今工事にかかっているということは裸になってるわけで、最終的には着物を着なきゃいけないんで、行き出した工事はやらなきゃいけないと思うんでどうしようもないことだと思うんですけども、今回の4億円というこの金額、当然これは積み上げをしてやってるんだろうと思うんですが、事業者のほうから金額が上がったやつを、設計監理のところがそれを多分受けて、それをそのまま入れているのか、それから多分今までやった、普通なら入札率を掛けた金額ということになるんだろうと思うんです。

それから、物価の今頃、何千万円、3,000万円幾らっていうような金額も言われたんですけど、その物価の掛け率の根拠っていうのはどこから来てるのか、物価が上がってるからと一言に言っただけで済むような問題じゃなくて、その根拠をはっきりさせていただきたい。何%何がどう上がると、それぞれのものによっても違うでしょうし、人件費も違うでしょうし、個々の材料費も違うでしょうし、それに係る経費が当然、今の公共工事の場合の経費っていうのはかなり大きなものになるかと思うんですけど、追加の材料なんていうのも、その落札した業者の見積りだけで評価をしているのか、ほかの者の見積りも取った中できちっと評価されているのか、特に設計監理の業者がそういうことをきちっとしたものが出てきている4億円なのか、その辺の説明をお願いしたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） この工事請負契約の変更につきましては、市の設計変更ガイドライン、こちらに基づきまして変更の協議をさせていただいておりますが、変更の協議につきましては、当然施工監理業者、こちらの設計事務所、こちらのほうへ委託して、こちらが全て精査をまずしております。

これに加えて、今回これだけの大きい工事でございます。設計思想の伝達というところが先ほどもありましたが、大変重要なところとなっておりますので、三者会議という国の制度がございます。こちらは発注者と設計者それから受注者、この3者で設計思想がちゃんと実現化されているか、適正な技術提案を加えて、その他工事に対する意見等、こちらの聴取も行いながら協議を行って進めてまいっております。

また加えて、内部にもそういった経験等を積む職員もいますので、そういう多面的に精査をした中で金額の決定をしております。

設計図書、内訳書がございますので、変更内容をそちらに反映させた中で、市で主体性を持って設計金額のほうをはじき出しているというふうに御理解いただければと思います。

あと、インフレスライドでございますが、インフレスライドにつきましては、県等から出た率、こちらのほうを、工事請負契約書の規定に基づきまして、基準日から残工事に対する請負代金、こちらの変更を割り出して、1%以上、これを超えた場合に適用するという計算式でやっております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） もちろんそのようにしないと駄目だと思いますし、何しろ当初いろいろ計画、今原田委員も言われたように、大きな金額をやっていくわけですから、物価が上がったからしょうがない、それから人件費がかかるからしょうがないということで、一遍発注したんだからそのパーセンテージでやっていかなきゃいけないということでは、お金が湯水のごとく出ていくような形ではどうしようもないんで、途中からその辺のところを、例えば設計変更ができるようなもので金額を抑えたりとか、途中から割増しをしていくんじゃなくて、それなりにやっぱり削減の方法を考えていかないと、ただ出てきたから、しょうがないからお金をつぎ込むということではいくと駄目だろうと思うんですけど、それはしっかり精査されたということですから、その責任を持ってやっていただかなきゃいけないと思うんですけど、後でまたこういうことが、問題が起きないようにお願いをしたいと思います。

以上です。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 設計変更につきましては、当然、先ほど委員も言われましたように、増加する部分、またこれには結局プラスでしか出てきていませんが、マイナスの部分も相当にございます。より安価でそれだけの機能を有するような資材への変更でありますとか、一部、ここは設計上あるけど、もう機能的に不要じゃないかというようなこの削減も大幅に図っております。こういった結果で4億円が計上されているということで、御意見ありがとうございます。これから適正な予算執行に努めてまいりたいと思います。

以上です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） そうしてもらわなきゃいけないんですけど、今くしくもマイナス部分があってプラス部分が4億円あってということは、プラスとマイナスを足した部分は相当な金額だったということですよね。そのマイナス部分が相当あったっていうのは、何がどのくらいあったんでしょうか。そうしないと、結果的には当初の計画から比べたときにはクオリティーが、クオリティーなのかどうか分かりませんが、それが下がったということは、実際これだけの大きな振れ幅があったっていう、10億円だったかもしれないというようなことになっては、とてもじゃないが、えっていう話になろうと思うんです。

何が、総務常任委員会で当然やっておられるんでしょうけど、最初の設計よりも今落とされたものがこういうものがあってっていうのをちゃんと把握をされて、だからマイナス部分とプラス部分、例えば7億円プラスになるところが3億円削減したというような説明をされた中でここへ持ってきておられるんでしょうね。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） すみません。数字のほうは今手元には持ってありませんが、そんな7億円とか10億円とか、そういったレベルのオーダーではありません。そういう改善も含めながら、結局4億円の変更を今回お願いするという形になったということで御理解いただきたいと思います。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） それは、私も極端な金額を言ったわけですけど、それが5,000万円であれ1億円であれ、削減したものがこういうもので、こういう理由でマイナスをした、その分は当然当初設計しとる、そこまで、極端に言やあ過大設計に近かったのも、我慢できる範囲で落としたとか、何を落としてどうやったかっていう説明を総務常任委員会でされたのか、そこ

でもしてないんだったら、説明が足りないんじゃないかなと思うんですけど、それが幾らだったか分からんとかというような問題じゃないと思うんですけど。4億円という数字が積み上げられてる、今の、たくさん削減をしたとか努力をしたっておっしゃられたんだから、そこが幾ら努力をされたのか、それはここで知らせていただくべきだろうなと思うんですけど、分からなければまた、でも皆さん、予算常任委員会ですからこれで決めないといけないんで、賛成できるか反対できるかという大きなことになろうかと思うんで、その辺はきちっとしていただきたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 項目になりますが、例えば外構工事の舗装につきまして、全面的にというところ、今後進めてはいく予定にはしておりますが、この工事においては舗装、こちらのほうの工事変更、こういったものがあったというふうに記憶をしております。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 個々に今ここで説明されてもあれなので、総務常任委員会でちゃんとお話をされてりゃそれでいいんです、総務常任委員会の中でオーケーをもらってここに出されとんでしょうから、そこでそういう話をされたのかどうか、委員の方がそれをお聞きなってもらっしゃるんなら、そりゃ何も問題ないと思うんですけど、そんなことをお聞きになってないままものが出てきてるっていうのは、今大変なことじゃないですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 総務常任委員会では、先ほど部長も言いました、随時御説明をさせていただいております、当初は1割、それから今年に入りまして2割程度、こういった変更の額、率、こういったところの説明はさせていただいております。ただ、そういったマイナスの部分、プラス・マイナスでお話をさせていただいておりますので、具体的にこういったところがというようなお話はさせていただいておりません。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） これ以上言ってもあれなんですけど、金額だけではなくて何がどう、何がこれだけ違うからこうだっていう説明を総務常任委員会できちんとしといていただいて、パーセンテージという問題で済まされるような問題じゃないと思うんです。必要なものならそ

れだけお金がかかっても予算をつけないといけないし、必要でないものはする必要はないし、後でかかって、これから先に例えば物価が上がるということが見通していけるのであれば、今幾らかでも安いときにやるべきであろうというのは、当然担当委員会とかこの予算常任委員会でも話をしてやらないと、またそのときになったからお金がかかりますっていう、皆さん認めてくださいって、こんなばかな話はないです。だから、これ以上は言いませんけど、きちっと納得してここへ出てきとるというように理解はさせていただきますけど、今後もう少し説明がしていただけることを希望いたします。

○委員長（大森進次君） 答弁は。

○委員（金谷文則君） 結構です。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 改築とかリフォームとかは、大きいのこまいのにかかわらず、やり出して分かるものというのが必ずあります。それは、絶対に小さな工事でもある。ただ、今回の塗装のこと、防水のことなんかは、外から見てもある程度は分かるんじゃないかと思うんですけども、工事をやっておる段階で、これは業者の人が、現地で壊したりいろんな工事されとる人が当然見て、これはもうもちませんよと、現在使うとる部分で大雨が漏りよんならすぐ誰でも分かりますけど、これは今漏ってないけど可能性としてはもうもちませんよと、これだけの工事をするんなら。へえで、その防水工事にしても、足場をもしこれを完成だというんでのけたら、それだけ工事をするために足場を架けて、いろんなことが、大きくやりようるときにせにやできんことというんがいっぱいありますよね。それが、恐らく、私が思うには、いろんな面で出てきたんじゃないかと思うんですけども。

だから、当時、物価の値上がり分は、皆さん、委員会の中でも、我々のこういう中でも、上がったらできんのじゃないかな、物価の上がりようが激し過ぎるんじゃないかなというようなことは言うんですけど、たしか本格的に工事にかかって、その他の部分の出費というのに、それを今回他の部分が大分出てくるんじゃないかとかというようなあれもなかったんで、突然4億円という数字になってびっくりしとるところじゃけど、ただ大がかりにやったときに済ませとかにや、後お金がかかり過ぎるからという部分のことは十分分かります。ただ、今後は、そこら辺のことも考慮して大枠を組む必要があるのかなというふうに感じます。どうでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 杉原財務部長。

○財務部長（杉原洋二君） 御意見ありがとうございます。

保田委員の言われるとおり、この機にやっておかなければならないもの、また足場を架けたときでなければ再度また足場を架け直さなければならないというようなことから、経済的にも不経済になったり有利になったりするようなものがあるかと思います。そういった建築的な知見を持って、今後も公共建築物の適正執行に努めていきたいと思います。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 議論がいろいろあるんですが、結果として、例えば多くの議員の皆さんは市長が毎回議会の前にプレスリリースする今回の予算の特徴の記事を見て、えっ、4億円、これなんです。担当委員会には今の金谷委員の質問に対して説明されてるそうですが、せめてこの最初に部長が説明されたような項目ですとか、その時系列でどうだったっていうことが、このSide Books上でちゃんと情報として出していただくっていうのは常識じゃないんですか。議員は、4億円出せと言われた、はい、出しますというところじゃないです。さっきもおっしゃってたように、積算されてこうやって4億円が積み上がったという経緯があるんでしょ。だったら、その経緯をきちんと説明すれば、こんな非常に情けない議論っていうのはないと思うんですよ。こうこうこうです、御覧になってくださいって言われて、ああ、積算するところで、こういう事情で、そうですねっていう、何で説明を事前に用意していただけないんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 杉原財務部長。

○財務部長（杉原洋二君） 今回の設計変更のポイントにつきましては、当初に私のほうから申しましたとおり、総務常任委員会のほうには定期的に説明をさせていただきました。そしてまた、大きな設計変更が想定をされた段階で議会の皆様方にも現場の視察研修を行いまして、そのときにおおよそ何割程度変更になりますというのは、段階段階では説明をさせていただいたつもりでございます。その説明が皆様方のほうにきちっと行き届いていなかったということであれば、今後もそういった内容を踏まえて情報共有のほうをしっかりとし、御理解いただけるようにしていきたいと考えております。

以上、よろしくお願いいたします。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そういうふうに考えていただかないと困ります。なぜかという、議

会というのはきちんとした責任を持って予算を通しますから、根拠を説明できないんです、こういう提案の仕方は。それは、各部それぞれの皆さんが実際議会に提案する以上は、それなりの準備をしていただきたいということをお願いをしたいと思います、答弁はいいです。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に3款民生費について質疑を受けたいと思います。

予算書は98ページから103ページ、説明資料は16ページから19ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に4款衛生費について質疑を受けたいと思います。

予算書は102ページから105ページ、説明資料は20ページから21ページです。

質疑はありませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明資料21ページ、子ども医療費の関係で1,800万円増額になってますが、これは7月から高校生までの無償化が始まったりとか、いろんな変化があったと思うんですけど、ここに至った要因を教えてください。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（川原達也君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 川原健康増進課長。

○健康増進課長（川原達也君） 御質問の件ですが、まず今回は当初予算の後初めての補正ということでさせていただいております。

高校生の無料化は7月から始まったりまして、その影響が出るのは2か月後からということで、9月からの支払い分から影響が出ます。2か月分ぐらいしか実績のほうが上がっておりませんので、まだその状況というのは、高校生の部分については分からないところがあります。

今回補正をお願いしますのは、昨年度と同様にはなるんですけど、高校生以外の年代の利用というか、診療経費のほうが上がっておりまして、昨年度と比較しますと、昨年度並みか昨年度よりちょっと低いかぐらいの実績になっております。ですけど、こちらが想定しておりましたほどのその軽減というか、減額のほうが期待できないということで、このまま行けば3月の支払い分がなくなるということで、今回補正をお願いしているものです。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今の説明ですと、高校生分にはあまり見込んでいないんです。既存の

方々がちょっと見込みより上振れしているんですっていう説明に聞こえたんですけど、まず受け取り方としてはそれでよろしいですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（川原達也君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 川原健康増進課長。

○健康増進課長（川原達也君） 今委員御指摘のとおりでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 子供の医療費が無償化になって何年かたちますが、その導入時でもいろんなところで御指摘があったと思いますけど、当時の御説明によると、赤磐市の場合は導入後、コンビニ受診はおかげさまであまりありませんでしたというような御説明があったと思いますが、先ほどの上振れっていう要因の中にももしかしたらそういう傾向が見え始めているんですか。その辺はいかがなんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（川原達也君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 川原健康増進課長。

○健康増進課長（川原達也君） コンビニ受診の傾向という御質問なんですけど、以前も現在でもですけど、医療の適正な利用とか、医療機関の適正な利用とか、コンビニ受診はしない方向でということで啓発とか、それから学校とかにおきましては、日本スポーツ振興センターの利用啓発とかというものをしております。今回の高校生の医療費の無償化を始めるに当たって、啓発の強化とかをさせていただきました。先ほども答弁させていただきました、昨年に比べて上がってはないけど、昨年度並みかちょっと下がっているかということを御説明をしましたが、その影響も出ているのかなと思ってるところです。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） すみません。聞けば聞くほど増えてるんだ減ってるんだというようなことで頭がどんどん混乱していくんですけど、まず1点、以前導入して、直近の頃にはおかげさまでコンビニ受診の傾向は見られませんでしたという御答弁をいただいたような記憶があるんですが、まずその1点だけに関して言えば、現状はどうなんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（川原達也君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 川原健康増進課長。

○健康増進課長（川原達也君） 今私のほうでは、そのコンビニ受診の傾向がその当時に比べて増えてるとかという情報は入ってはおりません。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） その上の説明資料の21ページの中で、これは人件費のとこなんですが、人事異動によっての経費の減額ではありますけど、人数が36人から32人と4人減ってるんですが、これはどういった異動なんでしょうか。減るということは、何か大丈夫なんかという気がするんですけど、そういったことを詳細に教えていただければと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 花谷総務課長。

○総務課長（花谷晋一君） 衛生費の人件費部分の人数が減っているというところの御質問です。そこにつきましては、コロナウイルス感染症関係の人件費といいますか、規模が縮小しております。そういう部分の人が減っております。また、それに伴いまして、支所の人予算の取り方が変わった部分もございまして、人が減っているのはコロナの部分であって、あとは予算の取り方が変わったので人数が減ってるようになっている部分がございます。実際は、人数が大きく減るとところというのは、コロナの関係だけでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） よろしい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 先ほどの大口委員の質問の続きなんですけど、子ども医療費1,800万円増、これはたしか3月議会だったと思いますけど、その1割負担がなくなったということなんですけど、これは3月ですから当初予算にはそれは含まれてないと思ってたんです。記憶違いだったらごめんなさいですけど、その1割負担をなくするに要する財源としては700万円ぐらいだというふうな説明があったように記憶しているんですけど、この1,800万円というのはその700万円は含まれてないんでしょうか。もし含まれてないんであれば、またもう一回次の議会あたりで、その1割負担した分が増額になるというふうなことなんじゃないでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（川原達也君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 川原健康増進課長。

○健康増進課長（川原達也君） 先ほどの御質問ですが、その700万円の増額の見込みということでしたけれども、今回のこのお願いします1,800万円、この中に含まれていると考えていただいて結構です。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 先ほどの説明だと、その既存が上振れしてるという御説明だったんですけど、この1,800万円の中にはその700万円も、正確に700万円かどうか分かりませんが、2か月しかまだ実績がないということなんですけど、それも含んだ1,800万円というふうに理解してよろしいでしょうか。今後はそんなに大きな変動はないというふうに理解してよろしいのでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（川原達也君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 川原健康増進課長。

○健康増進課長（川原達也君） 御指摘のとおり、このお願いします1,800万円で今年度の支払いのほうは、高校生のほうも含めましていけるものと想定しております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に6款農林水産業費について質疑を受けたいと思います。

予算書は104ページから107ページ、説明資料は20ページから23ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に7款商工費について質疑を受けたいと思います。

予算書は106ページから107ページ、説明資料は22ページから23ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に8款土木費について質疑を受けたいと思います。

予算書は108ページから109ページ、説明資料は22ページから23ページです。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 河川費のこのリフレッシュ事業による処分費というのがよく分かりません。今河川のしゅんせつをしていただいているようなんですけど、それとの関連なんですか。御説明お願いします。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

岡山県が管理しております河川内で土砂の堆積、支障木の繁茂などが発生している箇所につきまして、岡山県がしゅんせつであるとか伐木などの事業を今も行っております。これは、毎年行っておりますが、この事業は岡山県と赤磐市との共同事業で行うということになっておりまして、その処分費、しゅんせつ土であるとか伐採枝の処分費については市が負担することとなっておりますので、その処分費を計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 一般財源じゃなくて地方債を使って費用を計上しているというふうに理解していいんですね。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 委員のおっしゃるとおり、県の事業自体がこの緊急浚渫推進事業債を使っておりますので、うちの処分費についてもそちらの起債を借りております。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（原田素代君） ありがとうございました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 今の同じところなんですけど、先ほどの答弁で以前からやられてるということだったんですけど、これは見ましたら当初予算に全然入っていないんですよね、今回

350万円の手数料が入ってますけど、以前からやってるんであれば当初からある程度見通しはついてたんじゃないんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 事業をやることは決まっておりますけれども、県に対するその予算の割当てであるとか、どこをどれだけするとかっていうことが全く見込みが立たなかったもので、今回の補正で大体の数量が把握できましたので、こちらの補正で対応させていただいております。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 金額はそういったことになるんでしょうけど、多分1年や2年で終わる事業じゃないと思うんで、毎年同じような形で進んでると思うんです。だから、そのあたりは、予算を立てる段階である程度見通しが立ってやられるべきじゃないかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 見込みについては、県に確認してになりますけれども、分かる範囲で今後検討させていただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に9款消防費について質疑を受けたいと思います。

予算書は108ページから111ページ、説明資料は24ページから25ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に10款教育費について質疑を受けたいと思います。

予算書は110ページから117ページ、説明資料は24ページから29ページです。

質疑はありませんか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ネットワークの関係でございますが、山陽北小学校と桜が丘中学校のネットワークの設備の増設という……。

○委員長（大森進次君） ページ数を言ってください。

○委員（松田 勲君） すみません。

説明資料24ページ、25ページの山陽北小学校のネットワークと桜が丘中学校のネットワーク設備の増設による委託料を計上ということになっとなんですけど、これは増設ですので、もともとネットワークはつながってるとは思うんですけど、これはシステム保守等委託料ということで163万9,000円なんですけど、本来の委託料というのは払ってるとは思うんですけど、合わせてどのくらいになるんでしょうか。また、業者が同じところなんじゃないかな。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎教育総務課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） このたび計上させていただいております山陽北小学校と桜が丘中学校のネットワークにつきましては、それぞれの教室ごとにG I G Aスクール構想によるW i - F i 環境ということで整備させていただいておりますので、この山陽北小学校の通級指導教室、それから桜が丘中学校の普通教室2教室分ということで計上させていただいております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） いやいや、それは分かるんですけど、要はその委託料というのは増設分だけの委託料だと思うんですけど、もともと払って、W i - F i 、ほかもやってるとは思うんですけど、その合わせて大体どのくらいとかというのが分かるんですか。

それと、これは業者一緒ですか、山陽北小と桜が丘中学校も。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎教育総務課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） こちらにつきましては、ほかの教室につきましてはそれぞれ普通教室でそういった環境整備はもうできておりますので、その全体的な数字は持ち合わせておりません。申し訳ありません。

業者につきましては、これからの発注になりますけれども、この業者選定につきましてはこれから適正に事務のほうは行っていく予定です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 先ほどの件なのですが、答弁ではW i - F i が通級と普通の2教室ということなのですが、山陽北小と桜が丘中とどうなりますか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎教育総務課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 山陽北小学校が、通級指導教室の1教室分でございます。桜が丘中学校が、普通教室の2教室分でございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） そしたら、通級が1つと普通が2つということですか、確認ですが。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎教育総務課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） そのとおりでございます。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 別の関係です。

その同じページでその下にあります学校施設改修事業、過疎対策事業債の増額にということなのですが、これは山陽北小や桜が丘中はちょっと違うんですけど、この説明をお願いしたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎教育総務課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） こちらにつきましては、石相小学校の教室改修設計業務に係ります経費に対しまして財源更正を行ったものでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） そうしたら、これは過疎債が全額使えるということなんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎教育総務課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） はい、そのとおりでございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 今回の件に関連してなんですけど、一般財源から過疎債に振り替えていただいたのは助かったなというふうに思うんですが、いわゆる申請してから実際にこうやって過疎債が使えますよっていう許可が下りるまでは、最近はタイムラグといいますか、どれぐらいかかるんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○教育総務課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 西崎教育総務課長。

○教育総務課長（西崎雅彦君） すみません。

過疎債につきましては、市全体の過疎地域に係る事業になりますので、財政課のほうでその全体枠の中での配分となりますので、今回はこの石相小学校の改修設計業務につきまして全額充てられるということで割当てをいただいたものでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） それは心得とるつもりなんですけど、過疎債を使わせてくださいという申請をして、はい、分かりました、どうぞというまでのタイムラグが最近はどれぐらいあるんですかというのを教えてください。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財政課長（原田幸子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田財政課長。

○財政課長（原田幸子君） 起債の関係ですので失礼します。

過疎債のほうを1次協議ということで夏頃に一斉に上げていくんですけど、赤磐市のほうに幾ら割当てがありますっていうのが決まってくるのはもう少し後、県全体で見た後でこれぐらいですっていうのが来ますので、それに基づいてうちのハード事業のほうで幾ら使っていくっていう形のところで計上、実際予定していたものでもするしないで金額は変わってきたりいたしますので、最終的にこちらの教育総務課のほうの事業のほうに充てられるっていうのはこの

12月の時点で分かったので、財源更正で充てていくという形を取らせていただいております。タイムラグというのは、申し訳ないですけど、そういうものではないです。よろしくお願いします。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

ほかに質疑はありませんか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の26ページ、27ページです。一番下の中央図書館のところであるんですけど、これはここの社会教育費のところは全部人事異動によるとか同じ人事院勧告による増額ということなんですけど、これは813万7,000円ちゅうのは当初から比べると14%増額なんですけど、人勧はそんなに上がってはいないと思うんですけど、これはその辺の増額の理由、違うんじゃないかなと思うんですけど、御説明いただけませんか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○社会教育課長（大月美佳君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大月社会教育課長。

○社会教育課長（大月美佳君） 中央図書館の人事関係ですけれども、こちらについては基本的には人事院勧告による給与改定によるものなんですけれども、図書館につきましては職員は女性が多いということなんですけれども、地区館の状況につきまして、昨年度は女性1人の勤務が多かったということがあります。コンプライアンス推進室のほうから女性1人の勤務というのは危険であるという指摘がありまして、今年度から地区館につきましては2人体制での勤務ということをしております。それにつきまして、2人必須としたことに対応する予算が不足しておりますので、その増額も含めての増額となっております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） それでしたら、人事院勧告にというよりは、そちらのほうがメインなんじゃないですか、14%も増額ということは。何でそれが表に出せない、そういうことはない、今の説明で十分なんですけど、分かりやすくここの補正概要ですか、欄には記載していたらと思います。いかがでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○社会教育課長（大月美佳君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 大月社会教育課長。

○社会教育課長（大月美佳君） 御意見ありがとうございます。確かにこの文言だけでは分かりづらいと思いますので、こちらの説明についてはまた考えてまいりたいと思いますので、よ

ろしくお願いいたします。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、次に11款災害復旧費について質疑を受けたいと思います。

予算書は116ページから117ページ、説明資料は28ページから29ページです。

質疑はありませんか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 説明資料28ページ、29ページの災害復旧費です。

農地災害復旧事業で280万円、それから農業用施設災害復旧事業で1,770万円、道路橋梁災害復旧事業で3,000万円と出とるのは、これは8月の台風10号で被災され、大雨の被災での修繕というふうに出てるんですが、場所等が分かれば教えていただきたいのと、今年9月のほうにも大雨で被災した施設で1,050万円ぐらい出たと思うんですけど、これは関連性があるのかどうか教えてください。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 災害の場所についてでございますが、まず農地災害につきましては、吉井地域の暮田の畑が被災しております。

それから、農業用施設につきましては、殿谷の水路と西中の農道が被災しております。

それから、土木施設につきましては、惣分地内の市道北浦線、それから由津里地内の市道由津里中央線、戸津野地内の市道戸津野東線、それから是里地内の市道鳩岡線、それから塩木地内の市道塩木線の5路線が被災をしております。

それから、9月補正との関連でございますが、9月補正につきましては、令和6年5月27日から28日の午後による被災でございますので、関連性はないものと思っております。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 今関連性はないと言われたんですけど、場所も全く違うと考えてよろしいですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 殿谷の水路につきましては、前回、5月27日から28日の雨で崩れた箇所のごく下流側が崩れておりまして、今回一緒に直すということで、その延長が少し増えたことも含まれております。

以上でございます。

○委員（光成良充君） 分かりました。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

ほかに質疑はありませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） この説明資料が、どういうのかな、ずんずん簡素化されよるような気がするんじやけど、あまり予算書と説明資料がどうもそう違わんのじや。以前は、恐らく、記憶でいきやあ、3,000万円のうち何件とか入ったと思うんです、説明資料に。それから、ちょっとしたものに関しては、地区名が入ったと思うんで、最近全くそれらが入らんのじやけど、意図的にしょんですかな、これは。その辺を。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 杉原財務部長。

○財務部長（杉原洋二君） まず、冒頭の意図的ということとはございません。執行部のほうといたしましても、極力分かりやすく簡潔にまとめていってるところでございます。こういった機会に皆様方のほうから御意見をいただいておりますので、今後も工夫をして丁寧な説明に心がけていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） はい、よろしい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第69号令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）の質疑を終わります。

11時15分まで休憩します。

午前11時9分 休憩

午前11時15分 再開

○委員長（大森進次君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

続きまして、議第70号令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いをいたします。

○市民生活部長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 矢部市民生活部長。

○市民生活部長（矢部 勉君） 国保会計の補正予算につきましては、議場での御説明のとおりでございますが、主立ったものは人事院勧告に伴う給与改定に伴うものでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） 執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

事業勘定、佐伯北・是里診療施設勘定の両方の質疑を受けます。

補正予算書の120ページから145ページ、説明資料は32ページから39ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第70号令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の質疑を終わります。

続いて、議第71号令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いをいたします。

○市民生活部長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 矢部市民生活部長。

○市民生活部長（矢部 勉君） 後期高齢者医療特別会計の補正予算につきましても、本会議場での御説明のとおりでございますが、主に一般管理費の増額に伴うものでございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） 執行部の説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の148ページから157ページ、説明資料は42ページから45ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第71号令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の質疑を終わります。

続いて、議第72号令和6年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第3号）について審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いをいたします。

○保健福祉部長（遠藤健一君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 遠藤保健福祉部長。

○保健福祉部長（遠藤健一君） 介護保険特別会計の補正予算につきましても、議場での説明のとおりであります。人事院勧告に伴うもののみでございます。お願いします。

○委員長（大森進次君） 執行部からの説明は終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の160ページから173ページ、説明資料は48ページから51ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第72号令和6年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第3号）の質疑を終わります。

続いて、議第73号令和6年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）について審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いをいたします。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 桐谷建設事業部長。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）でございますが、本会議場での説明のとおり、補足説明はございません。内容につきましては、人事異動等による人件費の増額でございます。

以上です。

○委員長（大森進次君） 執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の176ページから177ページ、説明資料は54ページから55ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、これで議第73号令和6年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）の質疑を終わります。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第69号令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）から議第73号令和6年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）までの5件を採決したいと思います。

採決方法については、一括採決するか分割にするかなどの意見をお願いをいたします。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 議第69号補正予算（第6号）は分割してください。一般会計補正予算。

○委員長（大森進次君） 一括ではないということで、1件ずついってもよろしいでしょうか。

○委員（原田素代君） いや、私はそれはいいです。

○委員長（大森進次君） いや、意見が出てるんで、それは慎重にあれしたいと思いますんで。

○委員（原田素代君） お願いします。

○委員長（大森進次君） それでは、1件ずつ個別でいきたいと思います。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） 議第69号令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）について採決を行いたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いいたします。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立多数です。したがって、議第69号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第70号令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について採決を行いたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いいたします。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立全員です。したがって、議第70号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第71号令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について採決を行いたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いいたします。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立全員です。したがって、議第71号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第72号令和6年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第3号）について採決を行いたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いいたします。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立全員です。議第72号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第73号令和6年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）について採決を行いたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いいたします。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立全員です。議第73号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査はこれで全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） それでは、そのようにさせていただきます。

これで予算常任委員会を閉会いたします。

午前11時23分 閉会